

「机浜漁村番屋群」

岩手県田野畑村

「机」の地名はアイヌ語のツク・エツ（小山の・岬）が由来。

机浜の番屋群は、海岸から100mほど離れた24棟の木造番屋。三陸大津波（昭和8年3月3日）後に建て直され、1戸の幅は標準で約6m、奥行きは約3m。余った住宅建材等で建てられ、漁の拠点として作業場や漁具置き場、土間などの居住空間がある。昭和50年代頃までは多くの漁師が寝泊りし、出漁の準備や養殖ワカメの出荷作業にあたったという。漁港や道路が整備されてからは、車で漁具の運搬が可能になり、次第にその機能も失われつつある。

机浜の番屋群を守ろうと地域の若者が立ち上がった。机郷友クラブ（田野畑村机集落（総戸数59戸、人口183人）に居住する基本的に45歳以下の者で構成された青年会組織。郷土を愛し、友を大切にしながら「明るく住み良い郷土の建設のために貢献すること」をモットーに昭和52年の設立以来、地域の各種行事の主催や協賛及び奉仕活動を精力的に行っている）のメンバーたち（現在の会員は14人）。

活動のきっかけは平成14年の地元学だった。村内6学区で地域の宝を探す「たのはた地元学」が開かれ、机浜の番屋群もその時見つけられた。それまで地元では「古くなって見苦しい」と負のイメージで捉えられていたが、村外からの参加者が「まさに漁村の原風景だ」と絶賛したことから、再評価や保存への機運が高まった。

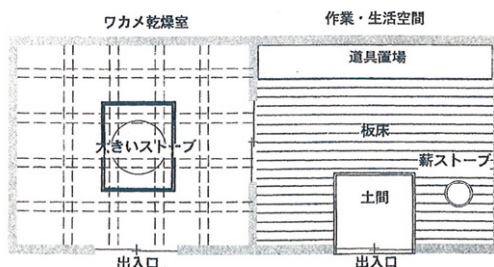
平成18年からは、いくつかの旅行会社が日本一の海岸美を誇る・北山崎（陸中海岸）観光コースに組み入れ、団体ツアーが机浜番屋群を訪れたり、また、地元の学校の校外学習等の場にもなっているほか、サップ船クルージング、番屋料理も体験できる。

ハンモッド（漁師）文化村をめざして、番屋群の保全と活用への道を探求している。

「したみち」番屋の構成



「したみち」番屋の外景



番屋の構成

みどころ



- 北山崎：日本の「遊歩百選」に選ばれた北山崎ウォーキングコースのある名勝地
北山崎ビジターセンター ☎0194-37-1211
- 田野畑村民俗資料館：国内最大規模の「三閉伊一揆」の資料等を展示
☎0194-33-2210